

白井市プラネタリウム館新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

2020. 5. 26

2021. 4. 1 改定

2022. 6. 1 改定

2020年5月26日に発したガイドラインを踏襲しつつ、当館の運営形態、施設の性格や規模を考慮し、当面の間、下記のとおり当市プラネタリウム館新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインを改め、新型コロナウイルス感染症防止対策を行います。

1 感染防止の基本的な考え方

「三つの密」のある場では、感染を拡大させるリスクが高いと考えられ、こうした環境の発生を極力防止するなど、施設管理者、入館者が相互に感染対策に取り組みます。

三つの密

- ① 密閉空間（換気の悪い密閉空間である）
- ② 密集場所（多くの人が密集している）
- ③ 密接場面（お互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）

2 施設及び入館者の感染予防対策について

◆入館者数の制限等

- ・密集、密接にならないように、1回の投映の定員を40名にします。
- ・団体投映は、1投映1グループに制限します。

◆施設の感染予防対策

- ・投映と投映の間隔をあけるように、スケジュール調整を行います。
- ・投映終了ごとに、使用した座席等の消毒を行います。
- ・投映後は入場扉を開放し、ドーム内の換気を行います。
- ・窓口には感染防止のため、飛沫感染防止用の仕切りを設置します。
- ・ロビーのソファは間隔をあけて設置し、利用できる座席も密を避けるため制限します。
- ・打合せは電話で行い、下見等来館の際の打ち合わせも十分な間隔を取って行います。

◆職員の感染予防対策

- ・職員は、咳エチケット、マスク着用、手洗い・手指の消毒を徹底します。
- ・職員は、社会的距離の確保に努めます。
- ・職員は、次の症状に該当する場合、出勤を控え、職場内の感染防止に努めます。
検温の結果、37.5度以上の発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁、鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐

◆入館者の感染防止対策

- ・発熱等の症状があるなど体調に不安がある場合は、ご来館を控えていただきます。
- ・入館の際にはマスクの着用をお願いします。
- ・入館前には手指の洗浄をお願いします。
- ・チケット購入時は、前の方と間隔(最低1m)を空けて並ぶようお願いします。
- ・入場整理券は使い捨てとします。

- ・配布物については、手渡しによる配布をさけ、入館者が自ら取るようお願いします。
- ・座席は、前後左右を空けて座るようお願いします。

- ・ホームページや打ち合わせ時において、以下の事項の周知を図ります。
 - 咳エチケット、マスク着用、手洗い・手指の消毒の徹底
 - 社会的距離の確保の徹底
 - 次の症状に該当する場合、入館を控えること。
咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁、鼻閉、味覚・嗅覚障害、
目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐

3 当面、自粛や延期する事業

- ・来館者の把握のできない人が多く集まる、人を呼び込むイベントは中止します。